

里山林再生植樹会 inくろせ

県民協働の森づくり
事業実施報告書



参加者で記念看板を取り囲んでの集合写真

平成 20 年 3 月

里山林再生植樹会 inくろせ実行委員会

(東広島市農林水産課, 西条・山と水の環境機構, 黒瀬町森林組合)

はじめに

「ひろしまの森づくり県民税」を活用した森林保全事業のモデルケースになればと、実行委員会立ち上げの準備を始めたのは、昨年の年の瀬頃かと思えます。

いつもの行事と規模や方法で異なることが多く、手探りで準備を進め、迷いながらも経験豊かな各団体の委員に助けられ何とかこの日を迎えることができました。地域からの参加も多く、身近な里

山に興味を抱くきっかけになったことと思えます。

最後に、皆笑顔で、準備から後片付け、受付に車の整理誘導までてきぱきと動いていただいた実行委員、団体の皆さまに感謝申し上げます。けが人もなく、運営できたのは皆様のお陰だと思えます。また後援・協力として行事を支えてくださった皆さまに御礼申し上げます。ありがとうございました。

【事業のアウトライン】

■事業の概要 位置づけ

当里山林は、地域の住民に様々な恩恵を提供してきたばかりでなく、黒瀬川の集水区域の森林として水源かん養機能や水質浄化機能を発揮し、下流域の内海への上質で豊富な水を提供してきました。しかし、現在、度重なる林野よりその里山林は荒廃し、風化した花崗岩のマサ土が露出するなど、里山林の様々な機能は低下しており、早期に森林整備を行う必要がありました。

そこで、呉市上流域に位置する当里山林について、「ひろしまの森づくり県民税」を活用して、未来へ花や樹木など自然の恵みを贈るため東広島市の関係者だけでなく、呉の市民や企業及び広く県民等と協働で森づくりに関わることで、継続して市域を越えた幅広い「県民協働による森づくり」を展開することを目指しました。

■名 称

里山林再生植樹会 i n くろせー県民協働の森づくりー
(西条・山と水の環境機構 第32回山のグラウンドワーク)

■日 時

2008年3月16日(日) 9:00~12:30

■場 所

東広島市黒瀬町乃美尾 岩幕山麓保安林山火事跡

■総参加者

300人

■主催

里山林再生植樹会 i n くろせ実行委員会

(東広島市、西条・山と水の環境機構、黒瀬町森林組合)

■後援

広島森林管理署、広島県、ひろしま緑づくりインフォメーションセンター

■協力

広島県東広島地域事務所、乃美尾上組生産森林組合、井野口病院

広島国際学院大学工学部佐々木研究室

■助成

「ひろしま森づくり県民税」活用事業

【プログラムの記録】

■タイムテーブル

8:30	スタッフ集合・会場準備
9:00	受付開始・代表者ミーティング
9:30	開会式
10:30	森づくり研究会「里山と川と水の関係」
11:00	各団体PRタイム, 集合写真撮影
11:30	炊き出し(豚汁, まぜご飯)
12:15	閉会式
12:30	解散



■実施概要

記念看板の設置工事のため、現地を訪れた金曜日は、午前中強い雨が降り薄暗い雰囲気でしたが、日曜日の植樹会当日、朝は肌寒かったものの快晴の天気で気温もぐんぐん上がり、絶好の屋外イベント日よりでした。

当初200人の募集人数に届くかと心配していた参加者も当日の飛び入りも含め、約20ものボランティア団体・企業・行政の各団体や広島市、呉市、東広島市の市民が集まり、参加者・スタッフ総勢300人でヤマザクラとシバグリの苗を1500本植えることができ、大いに盛り上がりました。

作業の方は、黒瀬町森林組合の指導のもと10班に分かれて22エリアにそれぞれ穴を掘り、苗を植え、肥料をまき、乾燥防止用のウッドチップを敷き詰めて踏み固めました。

予想以上に、作業は順調に進み1時間半の予定が1時間で終えることができたおかげで炊き出しの準備が間に合わないという事態になり、後半のプログラム「森づくり研究会」では、広島国際学院大学の佐々木

健先生が里山と川と水の関係について、「木を育てるのとカープの選手を育てるのは、時間がかかるところが良く似ている」との持論を交えながら、おもしろく話を広げていただきたっぷりお話いただきました。そのあと、予定になかった各団体のPRタイムをつくり代表者に各1分団体紹介をいただきました。

プログラム終了後には、財団法人東光会のご協力による豚汁とまぜご飯の炊き出しをいただき、作業での空腹を満たしました。みな東光会の手際よさに感心しながら美味しくいただけていました。

また、ニュースリリースを出した、マスコミ各社も中国新聞社をはじめ、地元フリーペーパーやCATV、NHKまで取材に来ていただき、事業のPRに貢献していただきました。また、市の広報番組の取材もあり、翌週の放送で「みんなで取り組む里山再生」のタイトルで取り上げられました。

■開会式



来賓のご挨拶・広島県森林保全室 梶保室長・東広島市産業部 清水迫部長、安全祈願のご発声「どんぐりころころ」三唱（サポート・トレッキング・グループ宮岡会長）

■植樹方法のオリエンテーション

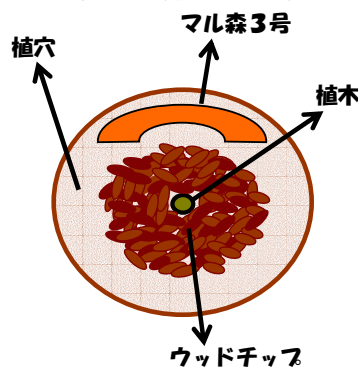
●苗木の植え方

- ①苗木をもって植える所に行く
- ②植える所のゴミなどを取り除く
- ③スコップで植えられるほどの穴をあける（掘った土は穴の近くに置く）
- ④苗木を植える（土を穴に戻す）
- ⑤足で苗木のまわりの土をふみ固める
- ⑥肥料を用意する（片手で手の平いっぱい）
- ⑦肥料を苗木のまわりにまく（苗木に当たらないよう山手側）
- ⑧ウッドチップを植えた木のまわりにまく（土が見えなくなるくらい）

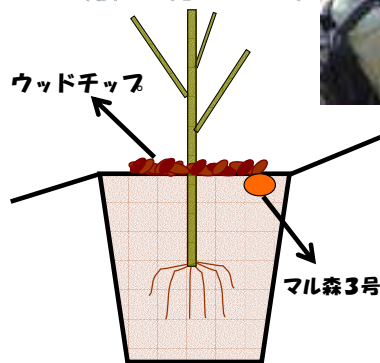


肥料

平面図
(上から見たところ)



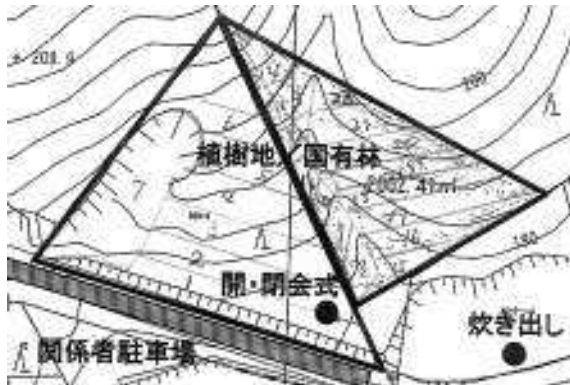
断面図
(横から見たところ)



■プログラム実施内容

(1) 森林整備（植樹）

- ・ 植栽面積(仮) 火災跡地 (0.34ha) + 周辺国有林 (0.16ha) = (約 0.5 h a)
- ・ 植栽本数 1, 5 0 0 本
- ・ 樹 種 ヤマザクラ 1,400 本, シバクリ 100 本



植樹風景



(2) 森づくり研究会

森林整備終了後に里山林の役割, その管理手法, 山とおいしい水等幅広い森林に関する話を聞く会を, 専門家を講師に実施する。

■講師

「里山と川と水の関係」: 佐々木健 (広島国際学院大学工学部教授)

ささき・けん Ken Sasaki

1949 (昭和24) 年生まれ。呉市出身。1972 (昭和47) 年, 広島大学工学部発酵工学科卒業。3年間, 西宮市の酒造会社で酒造に携わる。その後, 広島大学大学院工学研究科修士課程修了, 博士課程単位修得。広島電機大学の助教授などを経て, 現在は広島国際学院大学工学部教授, 大学院工学研究科教授。地域共同教育研究センター所長。環境バイオテクノロジーを専門とする一方, 学生とともに中国地方の名水や名湯を訪ね, 水質の鑑定を行い, 名水博士, 名水鑑定士と呼ばれている。



プロフィール資料: 広島県グラフ誌「すこぶる広島」秋号 (vol.68) より

●配布資料

森づくり研究会

話題: 「里山と川と水の関係」について
講師: 佐々木健 (広島国際学院大学工学部バイオ・リサイクル学科 教授)

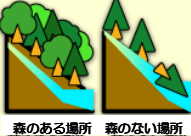

■水を育む森林や里山林
森林は, 生物多様性や地球環境の保全, 土砂災害防止, 水源のかん養等さまざまな公益的機能を有しています。
また, 森林は土砂の流出や崩壊を防止することにより, ダムの堆砂を防いだり, 河床を安定化させるなど, 水資源の確保を図る上でなくてはならない存在です。

■洪水緩和と濁水緩和の機能

森林は, 落葉・落枝などの堆積物や土壌生物が多くすむ表土がスポンジのようになって, 雨水をすみやかに地中に浸透させる働きがあります。

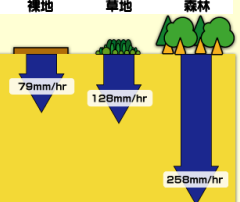
その能力は裸地の3倍という報告があります。この機能により雨水はゆっくりと河川に流されることから, 洪水や濁水が緩和されます。このようなことから森林は

「緑のダム」といわれています。





森のある場所 森のない場所

裸地 草地 森林



森林内は落枝落葉やかん木, 草などによって地表が覆われているため, 降雨などによる土壌の浸食や流出が抑えられています。森林と裸地を比較した場合, 土砂が流出する量は森林では裸地の1/150という報告があります。




■水質保全の機能

森林は, 雨水が地中に浸透する過程で水を濾過したり化学物質を吸い取って水を浄化しています。森林が生み出す水は汚れがなく, 石の間を通ることによりミネラルを含み, 様々な働きにより,

森林はおいしい水をつくります。

このように国民の健康な生活に必要なだけでなく, 農業用水, 工業用水, 発電用水として利用され, さらに漁業にとっても大切なものとなっています。



おいしい水

参考: 林野庁ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/~kouhou/bunyabetsu/index.html>



(3) 事業のPR

県産間伐材で作成した木製看板と横断幕, 参加団体の旗・のぼり



■炊き出し



■閉会式



乃末尾上組生産森林組合山本組合長の謝辞とG I C 櫻井代表代理の閉会のあいさつ

■取材・記事

●中国新聞朝刊 08年3月17日(月)

山火事跡地に緑を

黒潮の 森林税活用し植樹
住民ら



東広島市黒潮町乃美尾(つくり県民税(森林税)の岩蔵山で昨年三月に発の約三百万円を費用し、生じた山火事跡地に緑約〇・五ヘクタールにヤマを植樹しようと、市内のザクラとシバグリの里木自然保護団や町森林組計十六百本を植えた。

合が十六日、植樹会 地域住民や企業、ボラを聞いた。ひろしまの森

植樹を終えたばかりの約百五十人は、広島国際学院大の佐々木健教授(環境化学)が講演、「里山の再生は、西条のおいしい酒をつくる水質の向上にもつながる」などと森林保全の重要性を講じた。(下久保 昭司)

中国新聞 朝刊

●プレスネット 08年3月21日発行号 (Web版・記事版)

火事跡に1500本植樹

里山林再生植樹会inくろせ

昨年3月に起こった火事で荒れた里山を再生しようと「里山林再生植樹会inくろせ」が3月16日、東広島市黒潮町乃美尾の岩蔵山で行われた。同市、呉市、広島市などから約300人が参加。約0.5ヘクタールにヤマザクラとシバグリの計約1500本を植えた。写真。

実行委員会(東広島市、西条・山と木の環境機構、黒潮町森林組合)が主催し、「ひろしまの森づくり県民税」を活用した事業。

開会式で前黒潮町長が「ヤマザクラの森になることを思って楽しく植樹しましょう」とあいさつ。参加者はシャベルで穴を掘り苗木を植えていった。

呉市清水町の谷口幸久さん(35)、悦子さん(28)は「自然の大切さを子どもに体験させたい」と話し、長女のひなたちゃん(5)は「足がさくのが楽しみ」と次女ののどかちゃん(3)と一緒に苗木の回りに土を寄せていた。

植樹の後は森づくり研究会が製かれ、参加者は森林と水の関係などを学んだ。

ザ・ウェークリー・プレスネット 2008/3/21



里山林再生植樹会inくろせ 火事跡に1500本植樹

昨年3月に起こった火事で荒れた里山を再生しようと「里山林再生植樹会inくろせ」が3月16日、東広島市黒潮町乃美尾の岩蔵山で行われた。同市、呉市、広島市などから約300人が参加。約0.5ヘクタールにヤマザクラとシバグリの計約1500本を植えた。写真。

実行委員会(東広島市、西条・山と木の環境機構、黒潮町森林組合)が主催し、「ひろしまの森づくり県民税」を活用した事業。

開会式で前黒潮町長が「ヤマザクラの森になることを思って楽しく植樹しましょう」とあいさつ。参加者はシャベルで穴を掘り苗木を植えていった。

呉市清水町の谷口幸久さん(35)、悦子さん(28)は「自然の大切さを子どもに体験させたい」と話し、長女のひなたちゃん(5)は「足がさくのが楽しみ」と次女ののどかちゃん(3)と一緒に苗木の回りに土を寄せていた。

植樹の後は森づくり研究会が製かれ、参加者は森林と水の関係などを学んだ。

ザ・ウェークリー・プレスネット 2008/3/21

<テレビ放送>

●NHK広島県内のニュース：08年3月16日（日）午後6：45～7：00

●広島テレビ



「みんなで取り組む里山再生」08年3月23日（日）午前7：45～8：00

●KAMONケーブルテレビ

コミュニティチャンネル「KAMONたいむ」第621回

「山火事にあった里山へ植林 黒瀬町 岩幕山」

08年3月19日（日）～3月25日（火）毎日 偶数時間00分～（15分頃～）

【準備状況】

■第1回実行委員会

1 概要

(1) 日時 2008年2月8日(金) 14：00～16：00

(2) 場所 東広島市黒瀬文化会館 1階会議室

2 議題

(1) 委員、役員を選出、承認

(2) 準備状況

・実施計画、広報計画（チラシ・ポスターデザイン、ニュースリリース等）

(3) その他（今後の予定）

3 現地視察

・現地下見と受付、セレモニー、炊き出し、トイレ設置の場所決定

中国新聞朝刊 2008年2月8日（金）

焼けた緑取り戻そう

山火事で荒廃 黒瀬の岩幕山

来月植樹参加者募る

東広島市黒瀬町九尾尾 黒瀬川に接する岩幕山。昨年春に起きた山火事の跡地。焼けた緑を取り戻そうと、来月、町民らによる植樹大会を開く。参加者は市内内外の住民が中心。植樹は午前九時半から約二時間実施し、里山林の再生の仕方を学ぶ。専門家の講義も聞く。岩幕山は昨年三月に約三ヘクタールを焼く大火災が相次ぎ、山林の荒廃が深刻。植樹会は県が本年度に始めた「ひろしまの森づくり県民校（森の学校）」を活用した事業の一環として企画し、準備費は約三百万円。実行委員会は既に黒瀬町・山火災復興推進協議会（山火災復興）や黒瀬町森林組合、町民ら約十八人が出陣。「里山林再生協議会」も五平市方面にヤマザクラ千四百本、シラカバ百本の苗木を確保している。参加者は市内内外の住民

岩幕山に接する岩幕山。昨年春に起きた山火事の跡地。焼けた緑を取り戻そうと、来月、町民らによる植樹大会を開く。参加者は市内内外の住民が中心。植樹は午前九時半から約二時間実施し、里山林の再生の仕方を学ぶ。専門家の講義も聞く。岩幕山は昨年三月に約三ヘクタールを焼く大火災が相次ぎ、山林の荒廃が深刻。植樹会は県が本年度に始めた「ひろしまの森づくり県民校（森の学校）」を活用した事業の一環として企画し、準備費は約三百万円。実行委員会は既に黒瀬町・山火災復興推進協議会（山火災復興）や黒瀬町森林組合、町民ら約十八人が出陣。「里山林再生協議会」も五平市方面にヤマザクラ千四百本、シラカバ百本の苗木を確保している。参加者は市内内外の住民

岩幕山は昨年三月に約三ヘクタールを焼く大火災が相次ぎ、山林の荒廃が深刻。植樹会は県が本年度に始めた「ひろしまの森づくり県民校（森の学校）」を活用した事業の一環として企画し、準備費は約三百万円。実行委員会は既に黒瀬町・山火災復興推進協議会（山火災復興）や黒瀬町森林組合、町民ら約十八人が出陣。「里山林再生協議会」も五平市方面にヤマザクラ千四百本、シラカバ百本の苗木を確保している。参加者は市内内外の住民



【実行委員会】

■アドバイザー

中越信和

西条・山と水の環境機構 運営委員長

植田俊彦

広島県農林水産部森林保全室 事業調整監

栗栖寿規

広島県農林水産部森林保全室 森づくり推進グループ

富田茂生

広島県東広島地域事務所 農林局林務課長

前垣壽男

西条酒造協会理事長, 西条・山と水の環境機構理事

■オブザーバー

■実行委員長

瀬川千代子

ひろしま緑づくりインフォメーションセンター代表 (代理櫻井充弘)

■副実行委員長

日村有幸

黒瀬町森林組合 参事

■実行委員

宝寿正義

東広島市産業部 次長

高橋久雄

東広島市産業部農林水産課 課長補佐

森重征昌

東広島市産業部農林水産課 主任

佛崎信二

黒瀬町森林組合 業務課長補佐

渡辺菊夫

財団法人東光会 理事長

高藤忠之

財団法人東光会 副理事長

茶幡洋二

刈又池周辺森林整備研究会 会長

幾田奉文

日興苑遊歩会 会計

宮岡泰久

サポート・トレッキング・グループ 会長

加藤正彦

サポート・トレッキング・グループ 会計

■事務局

島 靖英

西条・山と水の環境機構 運営委員, 西条酒造協会 理事

兼森志郎

西条・山と水の環境機構 事務局 (報道対応)

畝崎辰登

西条・山と水の環境機構 事務局 (進行責任者)

船本昌義

西条・山と水の環境機構 事務局 (企画調整・進行)

【協力者・団体等】

■植樹地準備・指導

黒瀬町森林組合

■炊出調理・準備

財団法人東光会 (西条東コミュニティ振興協議会)

■森づくり研究会講師

佐々木健

広島国際学院大学工学部バイオ・リサイクル学科教授

■救護

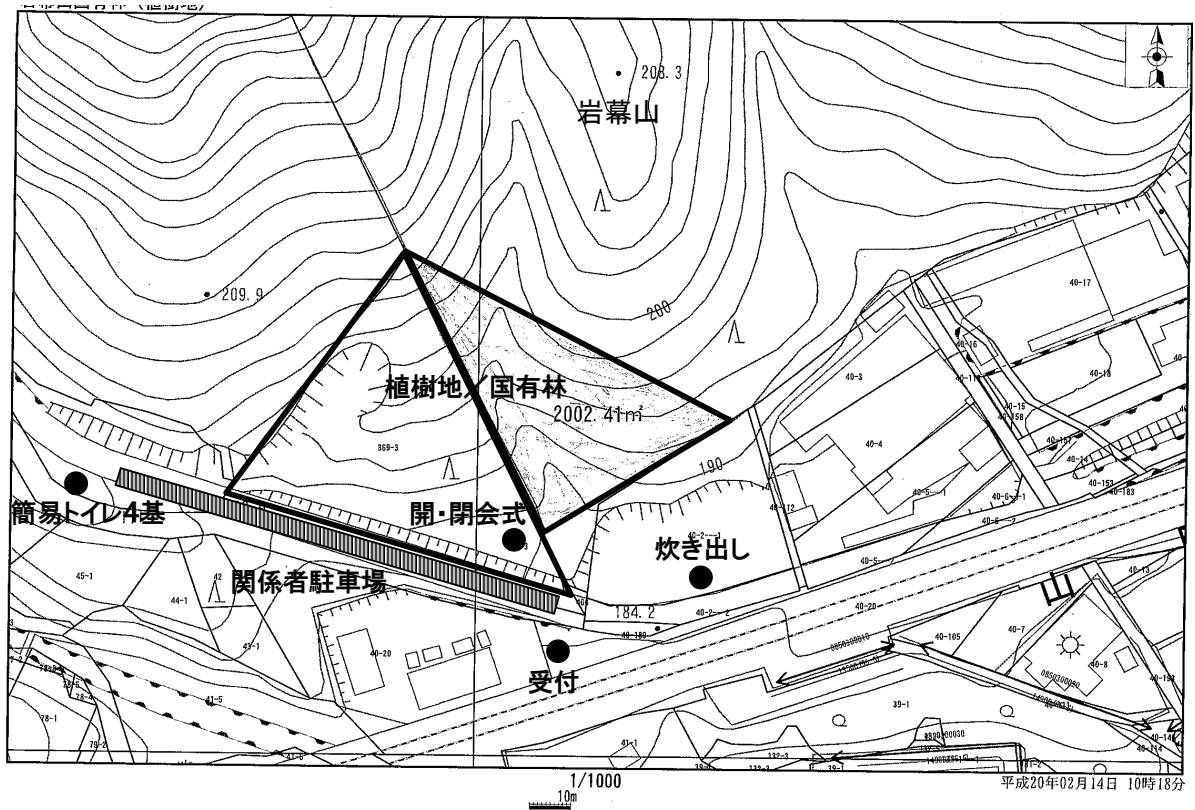
武信千代美

井野口病院 看護師長

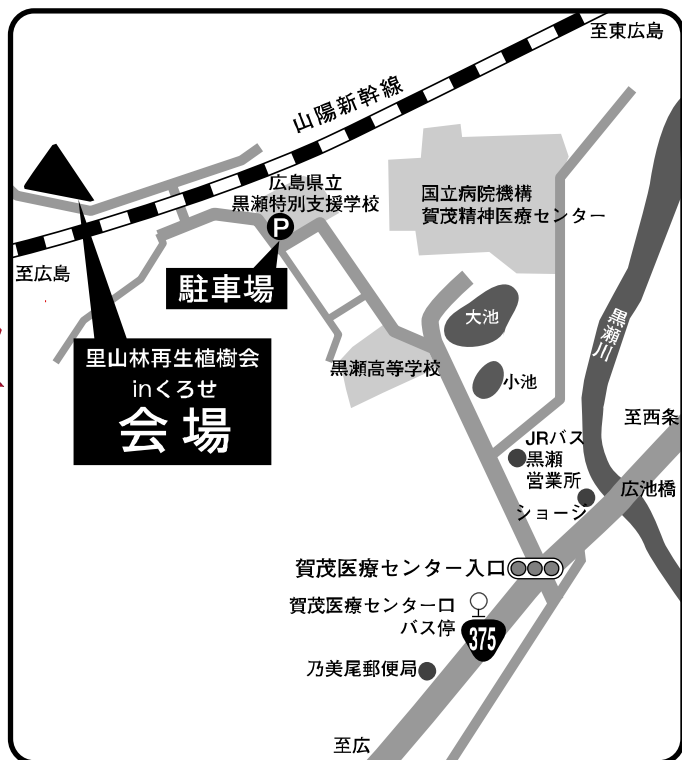
【参加団体等】

刈又池周辺森林整備研究会／上保田長寿会／呉市農林水産部農林振興課／西条酒造協会
 西条・山と水のクラブ／サポート・トレッキング・グループ／中国電力(株)東広島営業所
 (株)中電工広島中部支社／日興苑遊歩会／日本山岳会広島支部／乃美尾上組生産森林組合
 バブコック日立呉事業所エコークラブ／東広島みどりの少年団／広島県森林環境づくり支援センター
 広島県農林水産部森林保全室／広島県立黒瀬高等学校／広島国際学院大学佐々木研究室
 広島国際大学まちづくり研究会 (五十音順)

■会場図



参加記念に配布されたポット苗



●編集● 里山林再生植樹会 inくろせ実行委員会事務局
〒739-0012 東広島市西条朝日町 6-51 西条・山と水の環境機構